

だしく、三月上旬に至りては鵜方、神明等の部分は殆んど全滅の不幸を見るに至れり、灣の中部潮水の流通佳良なる處と雖も猶二割乃至四割の侵害を蒙り殊に御木本眞珠養殖場の如きは最も多數に放養せるを以て其被害も亦一層太甚だしく潜水夫蟄婦等を使役し死貝瀕死貝等を探取し他に傳染を防ぎたるも、三月十三日に至り俄然前回より深厚なる「赤潮」現出し今日に至つても未だ減退せず。當業者は只管之れが豫防策を講しつゝありと雖も若し赤潮の停滞久きに亘れば同灣の眞珠は全滅を免れざるべしと云ふ(三月十七日 津通信)(ア、タ、)

●鯉魚山の噴火 臺灣阿猴萬丹支廳管内鯉魚山の

屢々噴火せし事は本誌(明治三六年三月 第一七一號雜報)上にも報したる所なるが臺南毎日新聞(三八年一月 十七日臺南刊)の報する所によれば又々三七年一月二二日午前二時頃劇烈なる震動と共に噴火し泥土を吹上くるを十丈餘、火口四ヶ所に亘れり、幸に人畜の死傷なかりしも附近の交通杜絶し農作物にも多少の被害ありたり。(ア、タ、)

●帝國新領土竹島 明治三八年二月二二日を以て

島根縣知事は同縣告示第四三三號に於て北緯三七度九分三

〇秒、東經一三一度五五分。隱岐國を去る西北八五哩に在る島嶼を竹島と稱し爾今島根縣所屬隱岐島司の所管と定めたる旨を告示したり

該島嶼は韓國の範圍に屬する鬱陵島(松島) Dagajet

Land と共に、日本海上の孤島にして、未だ何れの國にも屬せず。二島共岩石より成り其一是周圍一五町餘、二島を合して周圍一里餘。島上には鳥糞常に堆積して白色を呈し、飲料水は有れども樹木なく僅かに青草を見るのみにて海驢頗る多く棲息せるが故、年々漁業に渡航するもの多し。列岩附近は海底深しと雖も、其位置函館に向つて日本海を航行する船舶の航路に當ると以て極めて危険なりと云ふ。同列岩は西曆一八四九年佛船リアンター Lincourt の發見にかゝり其稱呼を船名に取りたり超へて一八五四年露國フレガート形艦パラス Pallas 號は此列岩をメナライ Monai 及オリヅァツウ Oritsan 列岩と名け、一八五五年英艦ホルネット Hornet 號は之れをホルネット列島と名けたり(明治三二年日本水路部刊行 朝鮮水路誌に據る)(ア、タ、)

●本邦道府縣別甲種現住人口表第二回訂正及追加 本誌前號雜報欄に掲載せし「本邦道府縣別

# 東京地學協會

明治十二年四月創立

總裁

閑院宮

載仁親王殿下

會長

子爵

榎本武揚

副會長

子爵

花房義質

副會長

子爵

岡護美

理事 博士 神保小虎

理事 博士 田中阿歌麻呂

理事 博士 小川珠治

荒井郁之助

理事 博士 山上萬次郎

## 名譽評議員

侯爵 鍋島直大  
伯爵 桂太郎

男爵 赤松則良  
子爵 會我祐準

男爵 大島圭介  
伯爵 井上馨

## 評議員

子爵 田中阿歌麻呂  
男爵 榎本武揚

理事 博士 坪井正五郎  
理事 博士 小川珠治

理事 博士 伊木常誠  
理事 博士 井上精之助

男爵 花房重昂  
男爵 志賀重昂

理事 博士 巨野部忠承  
理事 博士 佐藤傳藏

理事 博士 井上碩五郎  
理事 博士 藤水鐵太郎

子爵 神保小虎  
子爵 長岡謙美

理事 博士 山土萬次郎  
理事 博士 横山又次郎

## 編輯委員

理事 博士 小川珠治  
理事 博士 金原信

田中阿歌麻呂

理事 博士 伊木常誠

# 地學雜誌第十七年第一百九十六號目次

## 論 說

●天草下島煤田(承前)……………理學士 金原信泰(三三)

●蒙古地方經歷談……………陸軍歩兵大尉 服部賢吉(三七)

## 雜 錄

●南船北馬(第十九稿)……………理學士 石井八萬次郎(三五)

●粒狀炭酸鹽岩類の石理と成因に關するリンデマン氏の論文に就て  
加藤武夫(三七)

## 附 圖

●第十六版(野狐嶺半嶺南望(右)長城方樓(左)瀾海(右)湖成黄土)

●理事會評議員會及例會

## 報 告

●東京地學協會記事  
●寄附金

●現時の印度  
文學士 蘭田宗惠(四七)

●琉黃島附近に現出したる新島に就て  
理學士 金原信泰(三七)

●蘇國南極探檢隊第二回探檢の結果 椿山學人(三五)

●第十七版 明治三十七年十二月湧出島略圖

●第八回萬國地理學會議記事  
(三七—三〇一)

- 硫黃島附近海中噴火并に新島の現出
- 昨年中新海縣下の石油産額
- 英澳赤南の來襲
- 經魚山の噴火
- 帝國新領土竹島
- 本邦道府縣別甲種現住人口表第二回訂正及追加
- 臺灣現住人口總計
- 帝國甲種現住人口總計
- 全國の米實收高

附

- 兼二浦開港準備
- 韓國に於ける帝國領事館の通信事業
- 通信機關委任に關する日韓條約
- 遼河流域の運搬力
- 威海衛近況
- 湘江航路開通
- 暹羅國鐵業概況
- 印度洋探檢事業
- シエイク サイド
- カルツム

●構造地質學講義

理學士 小川 琢 治

- モナコ候國面積
- モンブラン登山電車鐵道
- 葡萄牙國農業經濟狀況
- アレター、ギョ地方人口の分布
- チハカ、ボイボ湖
- アンデス橫斷大鐵道
- ツリモツウ諸島
- モナコ國北極探檢計畫
- 蘇國南極探檢隊の歸航
- 佛國南極探檢隊の目的

- 大北流船會社東洋航路開始
- 世界穀類生産額
- 世界食鹽産額
- 太陽斑點發現に伴ふ磁氣嵐
- 地下水々位の變化
- 文部省第十八回教員檢定本試
- 驗問題
- 新著紹介